

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	再生可能エネルギー由来電力の使用状況について
調査期間	2025年5月21日（水曜）～ 6月3日（火曜）
設問数	全3問（分岐設問除く）
対象モニター数	8,473名
回答モニター数	5,375名（63.4%）

【調査結果概要】

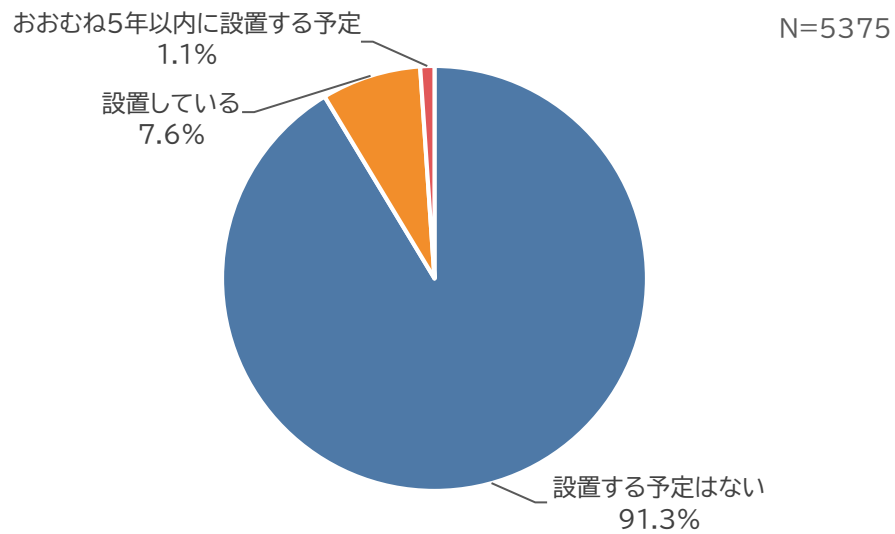
神戸市では現在、2030年度までに再生可能エネルギー導入目標を500MWと定め、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて「神戸市地球温暖化防止実行計画」の改定を進めています。太陽光発電設備の設置状況や再生可能エネルギー電力の利用実態を把握するため、アンケートを実施しました。

- ・太陽光パネルを設置している方は7.6%と少数で、今後5年以内の設置予定者も1.1%にとどまり、9割以上が設置予定なしと回答したことから、太陽光発電設備の導入が広く浸透しているとは言い難い現状を把握できました。設置しない理由としては、「集合住宅や賃貸住宅に居住しているため（56.1%）」が最多で、費用面（32.8%）や維持管理面（27.3%）も一定数みられ、住環境による物理的な制約に加え、経済的な負担やメンテナンスへの不安が、太陽光発電の導入をためらう主な要因となっていることが伺えました。
- ・太陽光パネル設置者の85%がFIT（固定価格買取）制度もしくは他の方法で売電している一方で、約12%は全量自家消費していることがわかりました。また、今後5年以内に設置を予定している方の中では、売電希望（43.1%）と自家消費希望（37.9%）となっており、FIT制度の活用意向が現状の設置者と比べて高くないことがわかりました。この背景には、FIT制度の買取価格がかつてと比べて大幅に下がっていることが影響していると考えられます。
- ・100%再生可能エネルギー電力の契約者はわずか1.4%であり、大多数の方が「いいえ or わからない」と回答しました。契約のきっかけとしては営業活動が最多（46.1%）で、切替えを検討しない理由には「メリットが分からない（36.8%）」「安定的に電力が供給されるか不安（31.7%）」が多く挙げられました。これは、再生可能エネルギー由来の電力の価値や仕組みが十分に伝わっていないことを示しており、情報提供の強化の必要性が伺えました。
- ・自由意見では、集合住宅向けの導入支援制度、環境負荷への懸念のほか、水素発電など新技術への期待が多く寄せられました。

【総評】

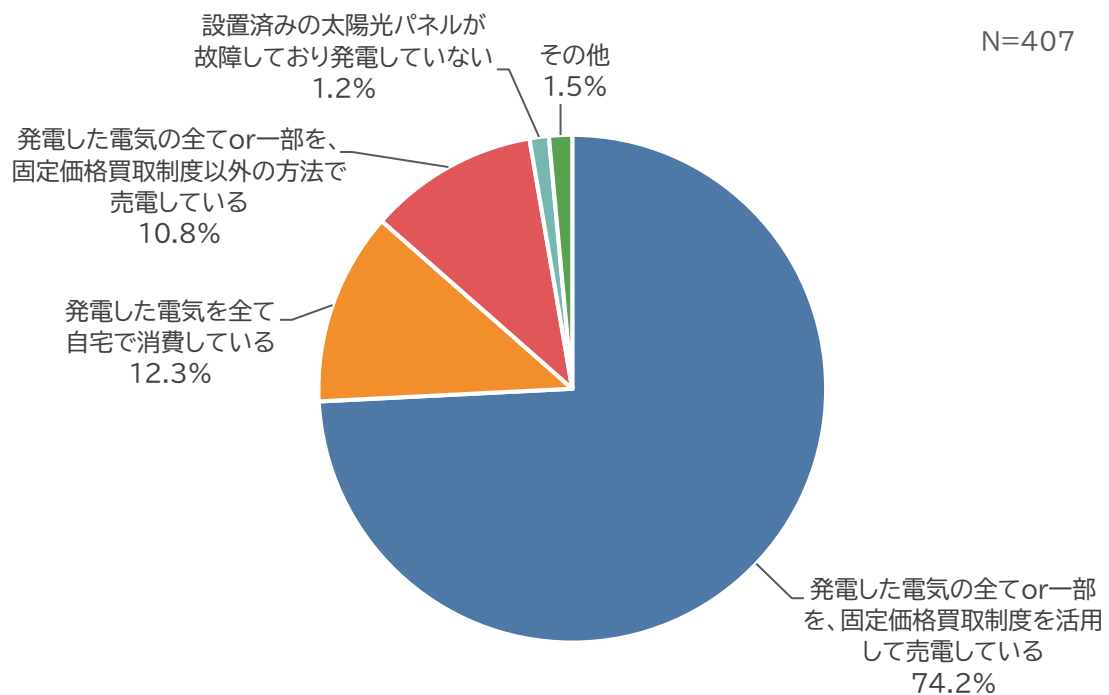
2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、再生可能エネルギーの導入を進めることが重要ですが、費用面や構造上の問題のほか、そもそも導入するメリットが分からないと感じている方が多いことがわかりました。こうした状況をふまえ、今後は制度のメリットを分かりやすく伝える広報活動の強化や、導入支援策の充実など、理解と関心を高める取組みを検討していきます。皆さまから寄せられたご意見を計画改定に反映し、より実効性のある気候変動対策を講じてまいります。

問1 あなたのご家庭では太陽光パネルを設置していますか。もしくは今後、設置する予定はありますか。当てはまる状況を選択してください。



<設置していると回答された方>

問1-1 太陽光パネルで発電した電気の使用状況を選択してください。

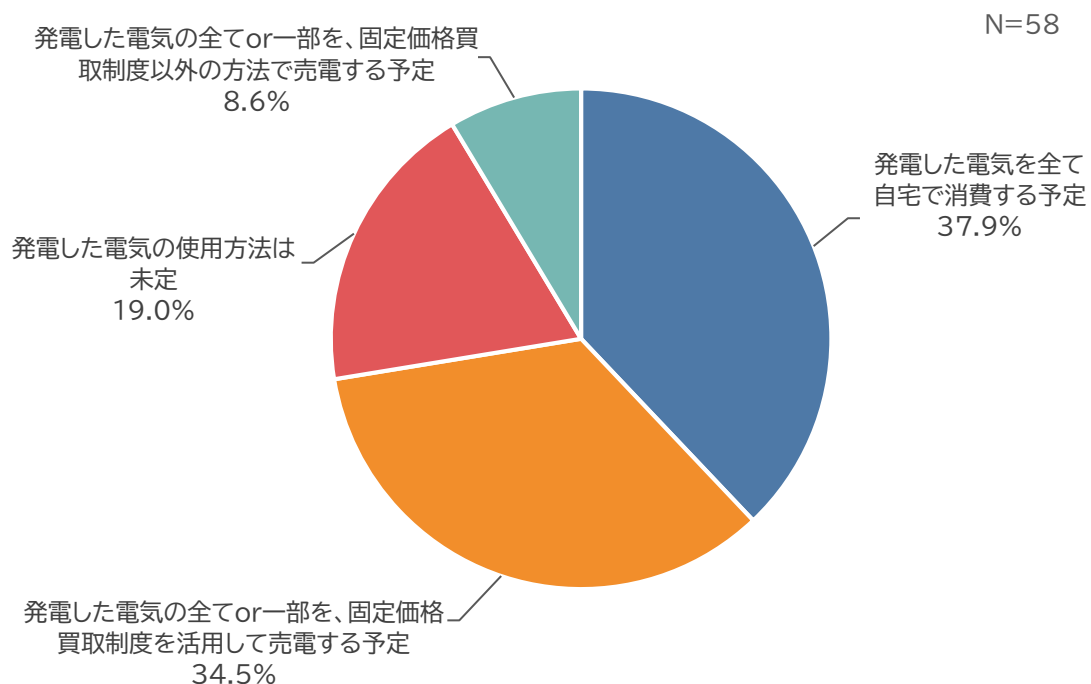


その他

- ・太陽光は、住宅全てを賄うものではなく、あくまで設備の一つを動かすための動力です。
- ・太陽光パネルで発電した電力は、マンション共用部で利用しています。
- ・賃貸物件に在住しているため、発電した電気の使用先が分かりません。

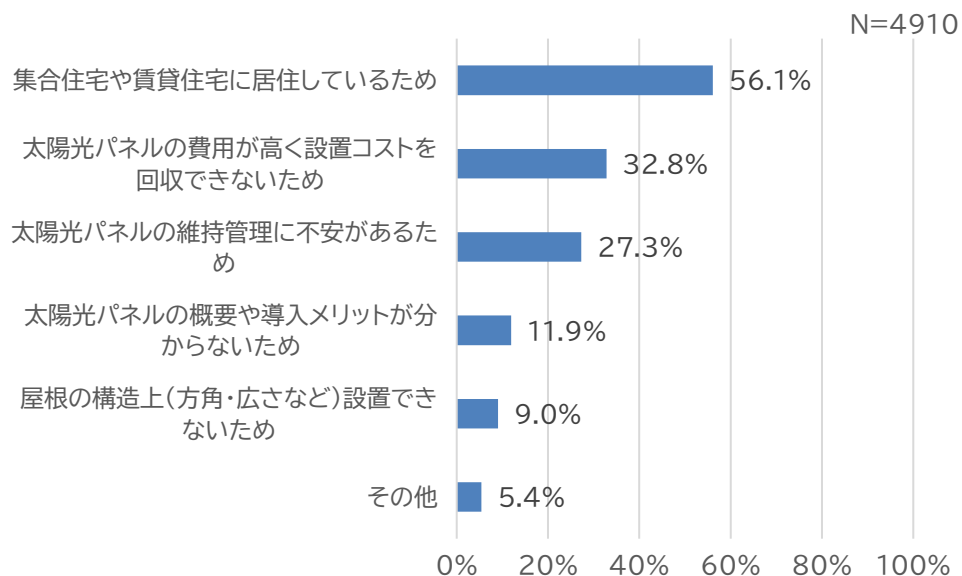
<おおむね 5 年以内に設置する予定と回答された方>

問 1－2 太陽光パネルで発電した電気についてどのように使用される予定か選択してください。



<設置する予定はないと回答された方>

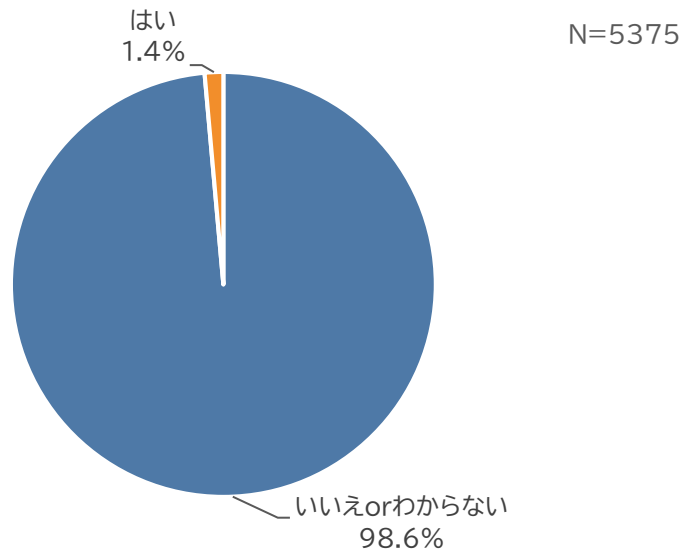
問 1－3 太陽光パネルの導入を予定されていない理由を選択してください（該当するもの全て）



その他

- ・ 太陽光パネルに関しては、大量廃棄の問題や、製造工程における CO2 排出量などの懸念事項が多く、環境に良い製品とは思えない。
- ・ FIT 売電の価格が低下しており、事業採算性の確保が難しい。
- ・ 高齢者であり、20 年後にメリットがあると言われても全く同調できない。

問2 あなたのご家庭で購入されている電気契約は、100%再生可能エネルギー電力（※）でしょうか。当てはまる状況を選択してください。



（※）100%再生可能エネルギー電力とは

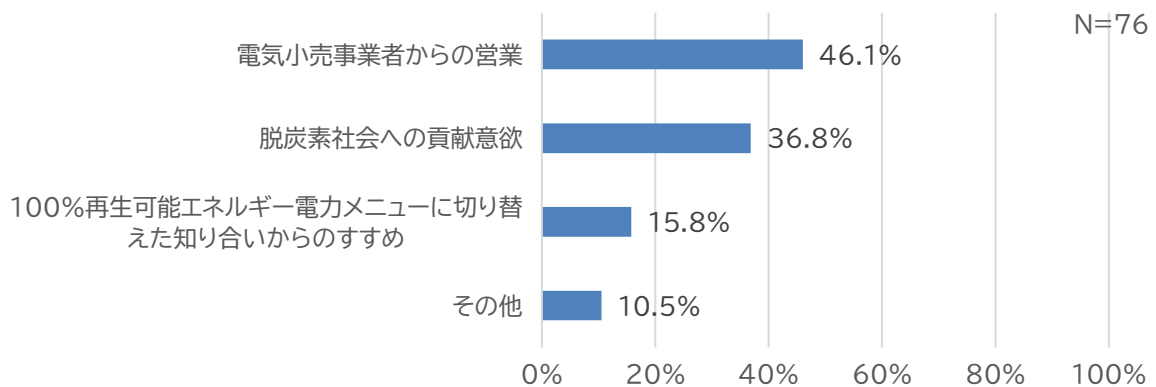
太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを電源としたプランです。

より詳細な情報については下記環境省ウェブサイトをご確認ください。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/re-start/howto/04/>

<はいと回答された方>

問2-1 100%再生可能エネルギー電力メニューを契約したきっかけとして、当てはまるものを選択してください（該当するもの全て）



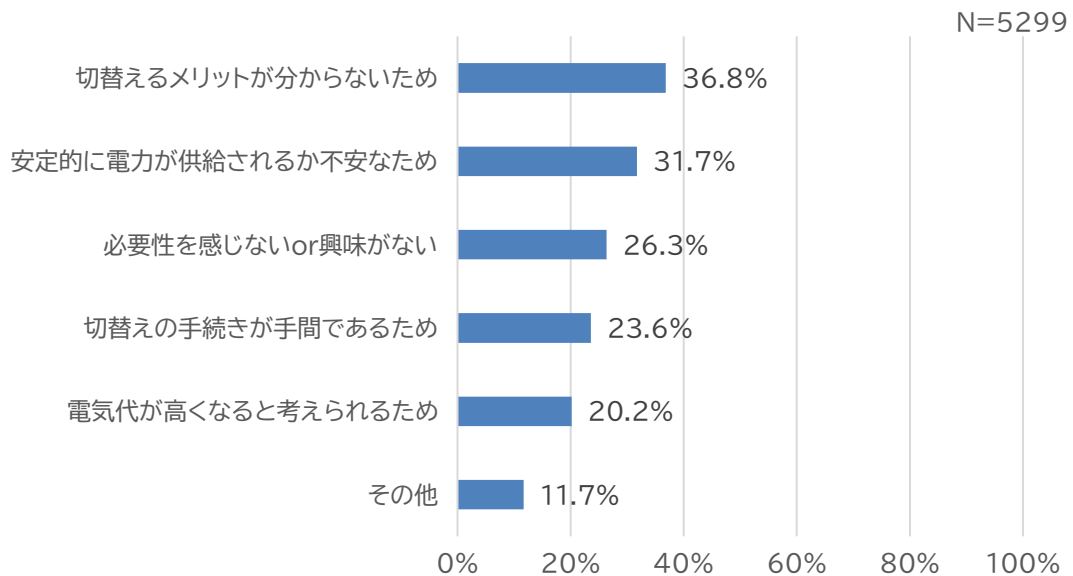
その他

- ・新築時にハウスメーカーから提案を受けた。
- ・EV 補助金を活用する際に、再生可能エネルギー由来の電力を契約する必要があった。
- ・福島第一原発の事故に関するニュースを見て、再生可能エネルギー由来の電力を使用する必要性を強く感じた。

<いいえ or わからないと回答された方>

問2-2 100%再生可能エネルギー電力メニューへの切替えを実施しない理由として当てはまるものを選択してください

(該当するもの全て)



その他

- ・ 再生可能エネルギーより原子力発電を推進するべきと考えている。
- ・ 100%再生可能エネルギー由来の電力メニューの存在そのものを認知していなかった。
- ・ 集合住宅・マンションに在住しており、個人の裁量で電気契約を変更できない。
- ・ 100%再生可能エネルギー由来の電力メニューへの切替え方法が分からない。
- ・ 毎月の電気代が上昇するため。

問3 再生可能エネルギー由来の電力使用について、ご意見ご感想があれば自由にお聞かせください。

①導入支援策の拡充に関する要望

- ・集合住宅に太陽光パネルを設置するための補助金を創設してほしいです。
- ・再生可能エネルギー（再エネ）電力には関心がありますが、自家設置の場合は導入コストが課題となり、再エネ電力の調達においても電力料金の更なる負担増が懸念されます。そのため、国や自治体などによる補助制度の拡充をお願いしたと思っている家庭は多いと思います。

②環境面での懸念事項

- ・太陽光パネルは 2030 年頃から大量廃棄の課題を抱えており、これ以上の設置は望ましくないと考えます。災害発生時にパネルが破損して、中に含まれる物質が流出する恐れもあります。神戸は阪神淡路大震災などの災害を経験しているので怖いです。
- ・パネルに使われている材料が不安です。パネルを破棄する時に環境負荷が起きないか心配。
- ・ソーラーパネルは再利用の課題が発覚して久しく、廃棄後の問題が解決されたとは言えません。拙策とならぬよう注意が必要だと思っています。

③新たな技術革新に対する期待

- ・ペロブスカイトが一般的になれば窓に張りたい。
- ・今注目されている「ペロブスカイト太陽電池」には非常に興味があり、現持ち家の建て替え時に商用化されていれば設置したいが、現在のシリコン型太陽光電池には魅力を感じません。神戸市としても技術開発の面から企業をフォローする仕組みを構築するべきではないか。
- ・水素発電に期待しています。
- ・住んでいる地域に大規模な太陽光パネルが設置してありますが、木々を伐採したので山肌がむき出しになっていて、そこまでして設置しないといけないものなのか、疑問に思います。

④制度面での課題

- ・新築マンションに太陽光パネルの設置義務付けを行ってはどうでしょうか。
- ・太陽光パネルを設置したのが 12 年前ですが、当時と現在の買取り価格の差に驚いています。

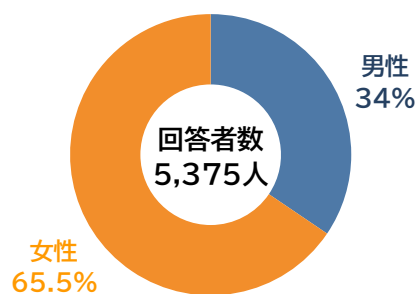
⑤その他

- ・消費電力量が年々増加する中で、再生可能エネルギーの導入は有効な選択肢の一つではあるものの、全てをそれに頼るほど安定的なエネルギーとは思えません。
- ・再生可能エネルギーなんていりません。

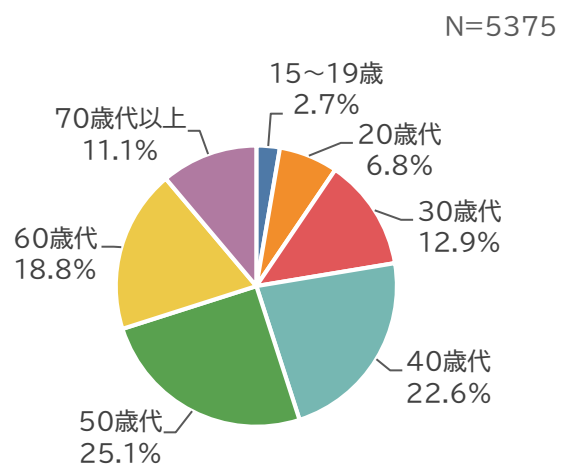
全 1,224 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

構成比

【性別】



【年代】



【区】

N=5375

